

株主の皆さまとのコミュニケーション誌

AGC Review

【株主通信】 Vol. 35 | 2019年
9月発行

AGC

2019年7月「キッズニア甲子園」に
『ガラス工場』パビリオンをオープン

AGC株式会社

証券コード：5201

Your Dreams, Our Challenge

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2019年上半期の業績につきましては、液晶用ガラス基板や東南アジアにおける苛性ソーダの販売価格下落、自動車用ガラスの出荷数量減少、ユーロ安の影響などにより、売上高は前年同期に比べて80億円減の7,375億円、営業利益は同188億円減の415億円となりました。また、日本における自動車用ガラスの生産効率悪化や東南アジアの苛性ソーダ販売価格が下落したことに加え、下期における欧米の自動車用ガラス出荷数量減少の見込みなどにより、通期の営業利益予想を1,250億円から1,050億円に下方修正しています。

上半期の業績は上記の通りとなりましたが、中間配当金については、期初予定通り1株当たり60円といたしました。期末配当金につきましても、期初予定した1株当たり60円を据え置いております。

AGCは、中期経営計画 **AGC plus-2020** の達成に向けて、戦略事業についてはM&A等の

成長戦略を推進することで、収益面において着実に成果を上げています。コア事業については、ポートフォリオ経営の徹底により長期安定的な収益基盤としていきます。

今後ともAGCグループになお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役兼社長執行役員CEO

島村 琢哉

業績ハイライト

2019年度上半期業績のポイント

売上高

液晶用ガラス基板や東南アジアにおける苛性ソーダの価格下落、自動車用ガラスの出荷減、ユーロ安により減収

営業利益

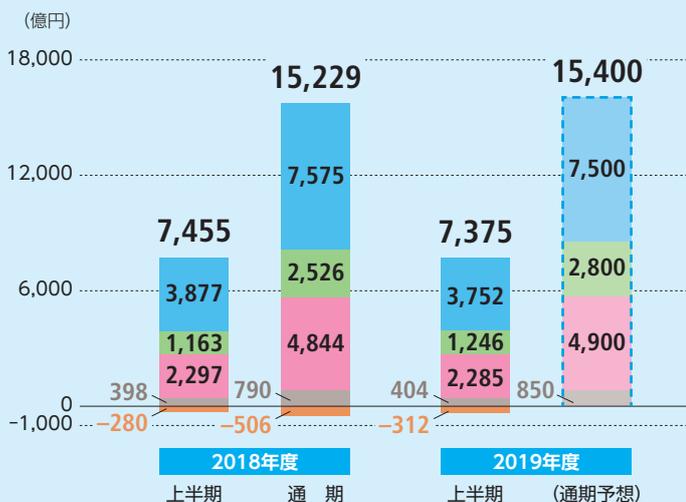
液晶用ガラス基板の販売価格下落や新規設備立ち上げ、自動車用ガラス、化学品の製造原価悪化により減益

親会社の所有者に帰属する四半期純利益

営業利益減により減益

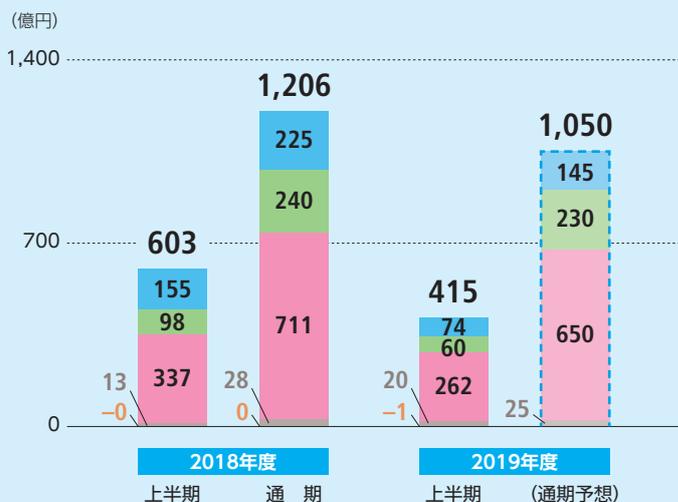
売上高

7,375億円 (前年同期比 1.1%減)



営業利益

415億円 (前年同期比 31.2%減)



セグメント

■ ガラス ■ 電子 ■ 化学品 ■ セラミックス・その他 ■ 消去または全社

※従来「電子」に含めていた車載ディスプレイ用カバーガラスの一部について、会社組織の変更に伴い、2019年度より「ガラス」にセグメントを変更しています。2018年度上半期については、2019年度のセグメントの区分に基づき作成しています。

親会社の所有者に帰属する四半期純利益

323億円 (前年同期比 32.9%減)



ガラス

【売上高】減収

建築用ガラスは日本と欧米で出荷が堅調に推移したものの、自動車用ガラスの日本とロシアを除く地域での出荷が減少したことやユーロ安の影響により、減収となりました。

【営業利益】減益

自動車用ガラスの日本における生産効率悪化の影響などによりコスト高となり、減益となりました。

電子

【売上高】増収

ディスプレイ用特殊ガラスや、半導体関連製品の出荷が増加したことに加え、昨年買収した銅張積層板事業の新規連結による業績寄与もあり、増収となりました。

【営業利益】減益

液晶用ガラス基板の販売価格が下落したことや、新規設備立ち上げに伴う減価償却費の増加により、減益となりました。

化学品

【売上高】減収

バイオ医薬品原薬の受託件数は増加したものの、東南アジアで苛性ソーダ販売価格が下落し、減収となりました。

【営業利益】減益

東南アジアで苛性ソーダ販売価格が下落したことに加え、日本における定期大規模修繕や電力コストの上昇などの製造原価悪化の影響により、減益となりました。

戦略事業の成長に向けた取り組み ～ライフサイエンス CDMO事業～

長期経営戦略「2025年のありたい姿」の実現に向け、「モビリティ」、「エレクトロニクス」、「ライフサイエンス」の3分野を戦略事業として位置づけ、その成長に向け取り組んでいます。

今回は、戦略事業であるライフサイエンスのCDMO事業について紹介します。

先進国における長寿命化や、世界的な人口増加などを背景に、世界の医薬品市場は年々拡大しています。

そのような中で製薬企業は、医薬品の開発に資源を集中するため、生産プロセス開発や製造を外部へ委託する傾向にあります。AGCグループはこうした医薬品の生産プロセス開発や製造を受託するビジネスを戦略事業として展開しています。

※CDMO：Contract Development & Manufacturing Organizationの略で、製造受託に加え、製造方法の開発を受託・代行する組織のこと。



世界CDMOの市場成長性

医薬品原薬CDMO市場規模推移



世界医薬品原薬CDMO市場は2022年まで、年平均成長率+7%で高成長を続ける見込みです。

出典：EvaluatePharma® World Preview 2017, Outlook to 2022などを元に当社推計。

AGCのCDMOとは？

- 合成医薬・農薬のCDMO事業 ～精密有機合成テクノロジーを用いて、原料から中間体、原薬まで一貫生産～

合成医薬品の開発・製造工程



合成農薬の開発・製造工程



● バイオ医薬品のCDMO事業 ～「目的遺伝子」をお客様から入手し、AGCが「培養」「分離」「精製」プロセスを受託～

バイオ医薬品の開発・製造工程

遺伝子組み換え

組み換えられた遺伝子を微生物・動物細胞に入れる



培養

組換え遺伝子が入った微生物を増やす。同時に、目的タンパク質（＝原薬）も増える



分離

精製

目的タンパク質（＝原薬）を集めてきれいにする



委託されたお客様へ販売

CDMO事業

当事業におけるAGCの強み

1 商用医薬品原薬の豊富な供給実績

医薬品には高品質かつ安定供給が要求されるため、CDMOとして豊富な実績を有する企業が選ばれる傾向にあります。その中でAGCグループは商用医薬品原薬の供給実績を持っている数少ない企業で、これはお客様からも高く評価されています。

2 お客様のニーズに合致した生産体制

患者数は少ないものの、治療薬の必要性が高い疾患に対する個別ニーズが近年高まっています。AGCグループは、洗浄・滅菌の工程が不要で少量多品種生産に適した製法の先駆者です。この製法は開発スピードを加速できるメリットがあり、バイオ医薬品向けに採用しています。

3 日・米・欧、グローバルな供給体制

合成医薬・農薬は、日本、スペインに、バイオ医薬品は、日本、アメリカ、ドイツ、デンマークに拠点を展開しています。お客様にとって最適な反応槽・培養槽を使用した生産をグローバルに提案できることが、AGCの強みとなっています。

「AGC統合レポート2019」を公開

本レポートは、AGCグループの業績や成長戦略、各事業戦略・概況等の財務情報に加え、Environment（環境）・Society（社会）・Governance（ガバナンス）に対する課題への取り組み等、いわゆる非財務情報も含めた活動報告書です。

本年度の統合レポートでは、当社製品による社会的な課題解決への取り組みや提供価値について、ご紹介しています。



本レポートは以下のAGCグループウェブサイトよりダウンロード可能です。

https://www.agc.com/company/agc_report/pdf/agc_report_2019.pdf



あなたのまわりの AGC

AGCの技術でインパクトのあるデザインを実現しています。

丸ノ内線新型車両にAGCのガラスが採用

2019年2月より、東京メトロ丸ノ内線新型車両が運行開始しました。

この車両を象徴する、丸みと立体感のある運転室の前面窓や、車端部にある丸窓などにAGCのガラスが採用されました。

特徴的な前面窓や標識灯ガラスに使用されている曲面ガラスは、曲げが深くなるとシワや歪みが生じやすくなります。AGCは、成形設備内の温度分布や温度プロファイルなどをコントロールすることで品質の高いガラスを提供しています。





関西工場（尼崎事業所、高砂事業所）のご紹介



尼崎事業所

所在地 兵庫県尼崎市西向島町2番地
操業開始年 1907年（明治40年）
従業員数 150名（2018年12月末現在）
主な事業内容 ディスプレイ用ガラスの製造、ガラス一体型デジタルサイネージの開発



高砂事業所

所在地 兵庫県高砂市梅井5丁目6番1号
操業開始年 1939年（昭和14年）
従業員数 520名（2018年12月末現在）
主な事業内容 ディスプレイ用ガラス、化学強化用特殊ガラスおよび半導体製造装置部材の製造

関西工場のご紹介

尼崎事業所（旧関西工場）はAGC創業の地として、高砂事業所（当時は伊保工場）はガラス溶解窯用耐火物の製造拠点としてそれぞれスタートしました。2013年に両工場の組織統合を行い、ディスプレイ用ガラスやカバーガラス向け化学強化用特殊ガラスの重要製造拠点として、また多様な場所への設置が期待されるガラス一体型デジタルサイネージの開発拠点として発展を続けています。



ガラス一体型デジタルサイネージ施工事例



関西工場長より ご挨拶

関西工場長 三谷 孝

AGCの中でも大変長い歴史を有する両事業所ですが、2013年の組織統合以降、新しい関西工場として歩みを始めました。「ONE TEAM関西工場」として尼崎高砂一体運営を行いながら諸課題に取り組み、種々製品の製造ならびに開発を行う一方で、ディスプレイ部門の国内外各拠点のマザー工場として日々奮闘しております。

トピックス 「キッズニア甲子園」に『ガラス工場』パビリオンを出展

この度社名変更1周年を機に、子どもたちの職業・社会体験施設「キッズニア甲子園」（兵庫県西宮市）に『ガラス工場』パビリオンをオープンしました。

子どもたちがガラスの種類、製造方法や役割などを知ること、身の回りにあるガラスへの興味を持ち、ものづくりの面白さを感じてもらうことを期待しています。

アクティビティ概要

職業名：ガラス工場スタッフ（Glass Factory Staff）

定員：6名/1回

所要時間：約30分

給料：8キッズ（キッズ：キッズニア専用通貨）

体験内容：ガラス製品についての知識を学んだ後、ガラスや鏡の製造工程を確認し、鏡のサンプルを作ります。自分で作った鏡のサンプルはオリジナルケースに入れて、持ち帰ることができます。

キッズニア甲子園に関する情報はこちら（www.kidzania.jp/koshien/）





株主様向けイベントを開催します!



鹿島工場見学会

建築用ガラスなどを生産している鹿島工場にて生産工程見学や製品展示などの工場見学会を開催します。

日時

① 2019年11月29日(金) ② 2019年12月3日(火)
11:00~18:00 (予定) 東京駅周辺集合・解散

場所

AGC (株) 鹿島工場

所在地: 茨城県神栖市東和田25
主な事業内容: 建築用板ガラスおよび化学品の製造

募集人数

各回30名
(同伴者をご遠慮ください)

注意事項

- ※ご見学時は1時間程度の徒歩移動、バスの乗り降りおよび階段の昇り降りがございますので、ご注意ください。
- ※工場内での撮影は禁止とさせていただきます。
- ※解散時間は、当日の道路状況等により前後する可能性があります。あらかじめご了承ください。
- ※昼食は当社でご用意いたします。

■ 応募要項

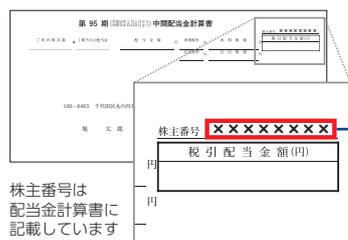
対象者: 2019年6月30日現在、当社株式を200株以上ご所有の株主様
応募方法: 郵便ハガキに右記の必要事項をご記入・貼付の上、ご送付をお願いします。(郵送料は株主様にてご負担いただきますようお願い申し上げます)
締切: 2019年9月30日(月) *当日消印有効
送付先: 〒100-8405 千代田区丸の内1-5-1
 AGC (株) 広報・IR部

■ ご応募前の確認事項

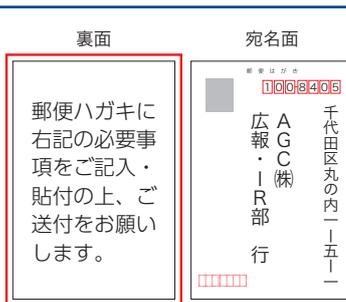
- ※ご応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選結果および当日の詳細につきましては、2019年10月末日までに郵送にてお知らせいたします(送付先は株主名簿上のお名前・ご住所宛)。
- ※ご応募の際に、記載事項にもれ等の不備がありますと、ご応募を無効とさせていただきますので、ご注意ください。
- ※ご応募に際していただいた個人情報は、本株主様向けイベントを実施するうえで必要な限りにおいてのみ使用いたします。

■ 費用

無料
(集合場所までの交通費は株主様にてご負担ください)



株主番号は配当金計算書に記載しています



切り取ってご利用ください

切り取ってご利用ください ✂

【応募用紙】

※お名前およびご住所は株主名簿に記載の登録住所・氏名をご記入ください。

■ 株主番号(8桁)

ふりがな
■ お名前

■ ご住所
〒 -
都道府県

■ Eメールアドレス

■ 性別 男・女 ■ 年齢

■ 電話番号 () -

■ 参加日程(いずれかの参加日程を○でお選びください)

- ① 11月29日(金)
- ② 12月3日(火)

お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 株主様サポートセンター AGC工場見学会専用窓口
 電話 0120-676-545 (通話料無料) 土、日、祝日を除く 9:00~17:00

2019年ブループラネット賞受賞者が決定

公益財団法人旭硝子財団は、地球環境問題の解決に著しい貢献をした個人・組織に『ブループラネット賞』を贈呈しています。今年の実賞者は、エリック・ランバン教授とジャレド・ダイヤモンド教授に決定しました。



■エリック・ランバン教授 (ベルギー)

ベルギー ルーヴァン・カトリック大学教授、スタンフォード大学教授・学部長

独自のリモートセンシング技術により、土地利用の変化が地球の自然システムへ悪影響を及ぼしていることを早くから指摘。グローバル規模での経済活動の持続可能性を改善するため、人々の行動と土地利用の統治管理の促進に大きく貢献しました。



■ジャレド・ダイヤモンド教授 (米国)

カリフォルニア大学ロサンゼルス校地理学部教授、歴史家、作家

代表的な著書『銃・病原菌・鉄』、『文明崩壊』、『昨日までの世界』の三部作を通じて、非常に広範な視野から今日の環境問題の根源を深く洞察。人類文明史における環境問題の意義を独自の視点から解き明かしました。

ブループラネット賞の詳細についてはサイトをご覧ください。

<https://www.af-info.or.jp/index.html>

会社概要 (2019年6月30日現在)

商号 AGC株式会社
 英文社名 AGC Inc.
 創業 1907年9月8日
 設立 1950年6月1日
 資本金 90,873,373,264円
 本社所在地
 〒100-8405
 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
 (新丸の内ビルディング)
 電話 (03) 3218-5096
 連結対象子会社数
 216社 (うち海外179社)

株式関連情報

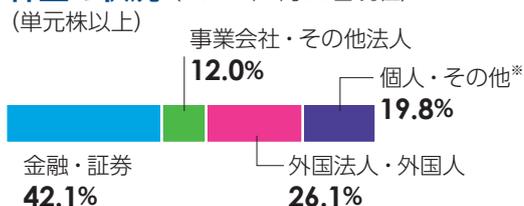
事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会開催月 3月
 基準日 定時株主総会 12月31日
 期末配当 12月31日
 中間配当 6月30日
 公告方法 電子公告
 [公告掲載アドレス]
<https://www.agc.com>

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 [連絡先]
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵便物送付先
 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式の状況 (2019年6月30日現在)

発行済株式総数 …………… 227,441,381株
 株主数 …………… 63,959名
 (単元株以上株主 …………… 56,452名)

株主の状況 (2019年6月30日現在)



* 自己株式2.6%が含まれています

配当金のお支払いについて

中間配当金については、期初予定通り1株当たり60円といたしました。期末配当金についても、期初予定通り1株当たり60円を予定しています。配当金は、支払開始の日から満5年を経過いたしますと、定款の定めにより、お支払いができなくなりますので、お早めにお受け取りください。なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお問合せ先

証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
口座を開設されている証券会社等	三菱UFJ信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) 電話 (0120) 232-711 (通話料無料)